

## 御津町室津での糖蜜採集

稲田 和久

1981年3月及び1982年3月に、揖保郡御津町室津の加茂神社社叢において、数回にわたり糖蜜採集を行なったところ、若干の蛾類が飛来したので、中間的な報告をしておく。

ちなみに社叢はウバメガシを中心とした常緑ガシ林であり、規模は小さいながらも自然林の様相を呈している。尚調査に協力いただいた柿谷幸広氏に深謝する。

1. *Orthosia gothica* (LINNAEUS)  
カシワキリガ
2. *Orthosia cornipennis* (BUTLER)  
アカバキリガ
3. *Orthosia odiosa* (BUTLER)  
チャイロキリガ
4. *Conistra ardescens* (BUTLER)  
カシワオビキリガ
5. *Conistra nawae* MATSUMURA  
ナワキリガ
6. *Xylena formosa* (BUTLER)  
キバラモクメキリガ
7. *Xylena japonica* HÖNE  
ハネナガモクメキリガ
8. *Lithophane ustulata* BUTLER  
ハンノキリガ
9. *Lithophane pruinosa* (BUTLER)  
カシワキボシキリガ
10. *Jodia sericea* BUTLER  
ミスジキリガ
11. *Mesorhynchaglaea pacifica* SUGI  
ヤクシマキリガ
12. *Eupsilia quadrilinea* (LEECH)  
ヨスジノコメキリガ
13. *Orthosia munda* (DENIS & SCHIFERMÜLLER)  
スモモキリガ
14. *Rhynchaglaea scitula* (BUTLER)  
チャマグラキリガ
15. *Rhynchaglaea fuscipennis* SUGI  
クロチャマグラキリガ

合計 8属 15種

(S.57:Kazuhisa Inada 姫路市 )

## 昆虫館だより ⑥

千種川グリーンライン昆虫館

館長 内海 功 一

1978年夏、千種町の山で下刈りをしていた方から1個のハチの巣をもらった。それは、クマシデの枝に付けた、しまのある灰色のもので短径20cm、長径25cm程の下方のどがつた円すい状のもので、見たことのないスズメバチの巣だった。ハチを見ようとビニール袋に入れておいたが、ついに出ず、完全な形の巣をつぶす気にもなれず、種は不明のままだった。

その後、1980秋、千種町西河内の池田数男氏が、径10cm程の巣で、それに付いた一匹のハチを添えて種を聞かれたことから、それは、キオビホオナガスズメバチであることがわかった。その巣とハチは神戸大学の奥谷先生に送ったが、虫数も少なく、再度池田氏に頼んでおいた。

ところが、本年(1982)の夏、池田氏から近くに巣が見付かったと知らされ、生態の見られる機会が来たと楽しみにしていたが、8月27日の台風13号により、巣が傷つき、ハチは離散してしまったという始末、どうやら、8月下旬頃には、このハチは巣を離れてしまうようでもあり、また、来年に持ち越すこととなる。

いま、また、本年作ったもので、中を開いた、径15cm程の別の巣を池田氏からもらった。中には径8cm程の2段になった巣が入っている。巣の外側の材質はキイロスズメバチが西洋紙とすると、このものは日本紙かと思われる気がする。

新しく出た『日本蜂類生態図鑑』岩田久二雄著講談社にもこの種の巣がでており、どうやら間違いないもので、また、分布上の珍品が播磨の奥にもいることになる。

(S.08:Kōichi Utsumi 佐用郡南光町船越)